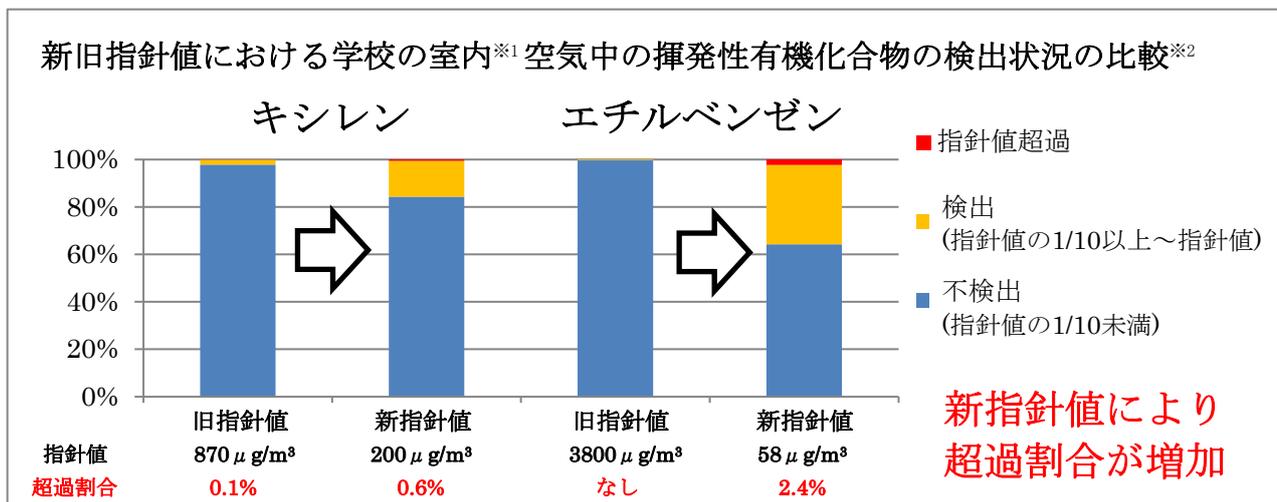
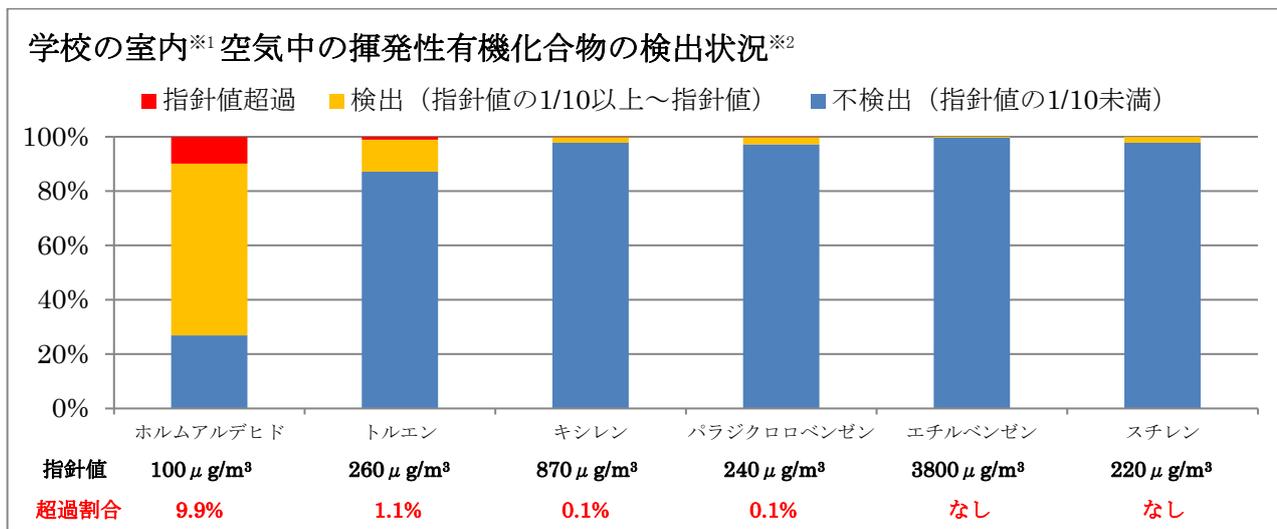


学校における揮発性有機化合物及び 新旧指針値に対する検出状況

第21回シックハウス(室内空気汚染)問題に関する検討会(2017年4月19日開催)において、室内濃度指針値に3物質が追加と、キシレンやエチルベンゼンなどの指針値を改定する方針となりました(詳細はザ・ナイツプロポーザルP-00151)。今後、学校環境衛生基準の室内空気環境基準においても、新規物質の追加やキシレンやエチルベンゼンの基準値が改定される可能性があります。

そこで、当社分析実績より、学校における揮発性有機化合物及び、キシレンとエチルベンゼンの新しい指針値における検出状況の変化をまとめました。



※1 学校の室内とは、幼稚園・保育園・小学校・中学校・高校・大学などの部屋(普通教室や特別教室など)を指します。

※2 検出状況は、2012年9月から2017年8月までに当社で分析をした5年間(約1000検体)の結果についてになります。

当社では、新たに指針値に追加予定の物質も含めて室内濃度指針値の測定が可能です。詳しくは、当社 研究開発部 佐藤(亮)(フリーダイヤル0120-01-2590 内線382)まで、お気軽にお問い合わせください。

